

福祉臨床学科紀要 第8号の発刊にあたって

福祉臨床学科は、学科開設以来毎年度紀要を発刊し、本年度は8号を数えることができました。社会のニーズに応じて、学科のコース改編を行い充実した福祉教育にむけて、先生方と力を合わせて参りました。

学生は、毎年、就職率ほぼ100%の実績を出しています。国家試験のハードルは、依然高いものがありますが、受験体制・学科のセミナー・指導体制も形が作られつつあります。保育士を希望する学生は、保育所・施設等への就職に成果をあげてきております。

そのようななかで、この3月に片田珠美先生、宮原伸二先生が退職されます。

片田珠美先生は、精神科医であり、精神医学をはじめ、精神保健福祉コースの主要科目をご担当いただきました。

宮原伸二先生は、内科医であり、医学一般をはじめ、医療に関する科目をご担当いただきました。

また、3月末に退職予定の重野妙実先生が、その日を待たずにご逝去されました。学科教員有志から、おくることばを募り、掲載することにいたしました。

それぞれの先生方には、臨床経験が豊富という共通点があり、その特徴を活かし教育に取り組んでいただいた年月は、学生にとっても教員にとっても刺激をなつたことと思います。ありがとうございました。

また、4年生の卒業論文一覧を合わせて掲載し、学生にとっての学びの軌跡もお伝えいたします。

どうぞ、本紀要をご一読いただきまして、忌憚のないご意見をいただければ幸いに存じます。

平成23年3月10日

福祉臨床学科長 菊池信子